

標高の訂正について（お詫び）

「鷲別岳（室蘭岳）について（学習資料）」は、国土地理院 25000 分の 1 地形図「鷲別岳」を参照して作成しましたが、令和 7 年 4 月 1 日、国土地理院では衛星測位を基盤とする標高の仕組みへと移行し、全国の三角点、水準点、標高点の数値の改訂を行いました。この改訂により鷲別岳は 910.9m に、カムイヌプリは 749.8m に変わりました。

国土地理院のホームページには次のように書かれています。

これまで標高は、日本水準原点からの水準測量により決められていました。しかし、水準測量によって全国の測量を終えるには 10 年以上の歳月を要し、地殻変動の影響を受けるとともに、水準測量は距離に応じて誤差が累積する特徴があり、日本水準原点から離れるほど標高の誤差が大きくなっていました。

そこで、国土地理院では標高の仕組みを衛星測位を基盤とするものに移行し、全国の基準点の標高成果を、令和 7 年 4 月 1 日に衛星測位を基盤とする最新の値「測地成果 2024」に改訂します。

東京都千代田区永田町の国会前庭にある「日本水準原点」から遠く離れた北海道の山の標高値は改訂されているものが多く注意が必要です。また、水準測量による誤差の他に、地殻変動により標高が変化しているという記述も国土地理院の解説にあります。

なお、北海道高体連登山専門部のホームページに同時にアップされた「2025 選抜大会持参地形図.pdf」には最新のデータが反映されています。この地図に照らし合わせて、数値の異なるのに気づいた次第です。お詫びして訂正します。

大会では「2025 選抜大会持参地形図.pdf」を用います。こちらを持参してください。

<訂正箇所> 赤字の部分、3 カ所

鷲別岳（室蘭岳）について（学習資料）

鷲別岳 ~~911.1 m~~ 910.9 m は、地元では「室蘭岳」として親しまれているが、国土地理院の地形図では「鷲別岳（室蘭岳）」と記載されている。山頂には一等三角点「鷲別岳」が設置され、「室蘭岳」と彫られた立派な頂上看板が立っている。（中略）

また、鷲別岳（室蘭岳）の東にはカムイヌプリ ~~750.1 m~~ 749.8 m（三等三角点「鷲別来馬」）があり、（中略）

標高 ~~746 m~~ 745m の頂上標識のあるカムイヌプリ山頂広場に到着する。（後略）

*カムイヌプリ頂上標識の数字は確認ミスによるものです。重ねてお詫びします。

以上